

令和3年度 相楽園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	本市公園のうち、唯一の近代日本式庭園。面積1.4ha
(2)指定管理者	神戸市造園協会・神戸市公園緑化協会グループ
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額:41,529,814円 決算額:42,738,454円(精算額:1,208,640円)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	3年度の状況	
①施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代日本式庭園にふさわしい植栽管理(クロマツの剪定、和の植栽などに配慮)</li> <li>施設及び設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等</li> </ul>	
②施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の総合的なマネジメント、入園料の徴収、イベント等の実施による公園の活性化</li> <li>営業時間 9時～17時(イベント時は夜間開園あり) 木曜日は休園</li> <li>つつじ遊山期間(毎年4月下旬～5月初旬)、菊花展期間(10月下旬～11月下旬)は無休</li> <li>[新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等]</li> <li>令和3年4月24日～5月11日 休園</li> </ul>	
③その他の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>自販機、イベント時屋台・模擬店の設置</li> </ul>	
(2)利用状況	3年度の状況	
①施設利用状況	入園者数 71,817人(対前年度比112%)、2年度 64,256人、元年度 113,957人	
②その他利用状況	4/24-5/5つつじ遊山(中止)、8/28-29にわのあかり(中止)、10/20-11/23菊花展(21,194人)	
(3)収支状況	3年度の状況	
①使用料または利用料金収入	入園料:10,143千円(対前年度比116%)、2年度 8,722千円、元年度 16,537千円	
②指定管理者の収支状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理部分 収入42,738千円 費用39,275千円 差引3,463千円</li> <li>収益事業部分 収入1,350千円 費用361千円 差引989千円</li> </ul>	
(4)その他	3年度の状況	
①行動指針に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日本庭園の文化を継承し、高度な植物管理技術による庭園管理を行う。</li> <li>→専門家の高度な技術による安定した植栽管理、庭園景観の形成</li> <li>②魅力あるプログラムと効果的なプロモーションによる来園者の増加と顧客満足度の向上(案内掲示の充実)</li> <li>→庭園を楽しむ四季の行事(菊、つつじ等)や地域との協働によるイベントの開催等</li> </ul>	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	目標入園者数 78,000人	入園者数実績 71,817人(対目標比92%) (うち有料入園者数 43,999人)
②収入目標額	目標収入額 9,300千円	入園料実績 10,143千円(対目標比109%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>2大行事 つつじ遊山→新型コロナにより休園 菊花展の実施(21,194人)</li> <li>庭園内の建物を活用したイベント等の開催(相楽園大学、コンサート等)</li> <li>庭園を楽しむ季節の行事の開催や演出(冬ぼたん、干支饅頭配布、ライトアップ、七夕、門松等)</li> <li>相楽園会館、兵庫県立大、関西国際大学、NPO、学校、市民等の連携(コンサート等のイベント、研修)</li> <li>景観を構成する重要な樹種(つつじ、クロマツ、ソテツ)の健全な管理</li> <li>文化財の景観に配慮した植栽管理(正門アプローチ正面、和風飾花 等)</li> <li>灯具をLEDへ更新</li> </ul>
	提案外で行った、特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>黄化がみられたマツの木の土壌改良</li> <li>安全性と文化財保護に配慮した植栽及び施設管理(文化財建築物・塀周囲 等)</li> </ul>

4. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況	
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施 令和4年12月～3月 アンケート回収数 3件 (令和2年 30件)	
②満足度調査の結果	満足 1人 やや満足 1人 普通 1人 やや不満 0人 不満 0人 満足度{「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5}÷(「満足」+「やや満足」+「普通」+「やや不満」+「不満」)×100 ÷2}⇒ 75%(R2:90%) ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。	
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急事態宣言下で屋外なのに閉園していたので、行くところがなく困った。</li> <li>(施設独自アンケートのコメント:日本庭園のこと、相楽園の歴史を知りたい。庭の手入れを教えてください。)</li> </ul>	

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<p>3年度も緊急事態宣言発令に伴い4/24～5/11が臨時休園し園の見所であるつつじ遊山が中止。他にも緊急事態宣言発令により、夕涼みの会、にわのあかり、相楽市(9/12)が中止となり、入園者数は前年度比は上回ったものの、目標には届かなかった。入園料収入は目標・前年度ともに上回った。</p> <p>国の登録文化財である神戸唯一の近代日本庭園として、植物管理では専門家組織が管理する利点を活かし、景観の主要要素であるマツや大クスの樹勢などに配慮した管理方法を検討・採用している。</p> <p>コロナ禍でイベント開催が制限されるなか、感染拡大対策を行いながら、安全に留意したうえで再開し、利用促進に努めた。また、イベント中止により実施には至らなかったが、THE SORAKUENや大学等と連携し新しい取り組みの準備を行ったことは評価できる。</p> <p>広報面においては、テレビ、新聞などのメディアの取材を活用し、相楽園の庭園、文化財としての本来的な価値の周知に努めていることも評価できる。</p> <p>引き続き、指定管理者が持つ専門性を十分に活かして、庭園としての価値を追求し、園の将来像を見据えた中長期的な視点で園地管理に取り組むとともに、都心の屋外スペースである利点を活かし、新たな需要に対応した施設運営やPRに努めるなど、入園者獲得(特に季節イベント時以外の入園者増及び有料入園者数の増加)に努められたい。</p>

令和3年度 森林植物園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	六甲山の山なみと自然を背景に、針葉樹を植栽し、四季を彩る落葉樹や花木をそえる樹木植物園として、博物館相当施設・社会教育施設の役割を果たす。 面積142.6ha 施設・修景的緑地・自然林・造成林・駐車場等
(2)指定管理者	公益財団法人神戸市公園緑化協会
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額:152,509,260円 決算額:160,555,293円(精算額:8,046,033円) ※協定・決算額は当初提案額から、派遣職員人件費(協定20,000,000円、決算19,991,589円)を差引いたもの

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	3年度の状況	
①施設の維持管理業務	・博物館相当施設及び植物園にふさわしい植栽・樹林管理、園地管理 ・施設及び設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等	
②施設の運営業務	・施設の総合的なマネジメント、入園料の徴収、イベント等の実施による公園の活性化 ・営業時間 9時～17時 水曜日は休園(イベント時は臨時・夜間開園あり) [新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等] 令和3年4月25日～5月11日 休園	
③その他の業務	・食堂・休憩所、売店、駐車場、自販機	
(2)利用状況	3年度の状況	
①施設利用状況	入園者数 195,587人(対前年度比100%)、2年度 195,739人、元年度 214,452人	
②その他利用状況	三大散策会(つつじ・しゃくなげ5,151人、あじさい35,387人、もみじ77,880人)	
(3)収支状況	3年度の状況	
①使用料または利用料金収入	入園料:27,670千円(対前年度比97%)、2年度 28,471千円、元年度 28,967千円	
②指定管理者の収支状況	・指定管理部分 収入160,555千円 費用177,041千円 差引▲16,490千円 ・収益事業部分 収入 39,263千円 費用 24,565千円 差引14,698千円	
(4)その他	3年度の状況	
①行動指針に対する対応	①長期的な視点で策定された展示林保全管理年次別計画に基づいた園地管理により、森林の生態系を維持する →季節の見所となる植物の適切な管理(つつじ、しゃくなげ、アジサイ等)、ナラ枯れ、マツ枯れ対応等の植物管理による健全な森林の保全 ②魅力あるプログラムと効果的なプロモーションにより、来園者の増加と顧客満足度の向上に努める。 →植物園の特性を活かした各種プログラムや多様なイベントの実施	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	目標入園者数 225,000人	入園者数実績 195,587人(対目標比87%) (うち有料入園者数 82,899人)
②収入目標額	目標収入額 30,000千円	入園料実績 27,670千円(対目標比92%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三大散策会(つつじ・しゃくなげ:5,151人(2年度休園)、あじさい35,387人(2年度42,191人)、もみじ77,880人(2年度76,083人))</li> <li>・季節の見所となる植物の適切な管理(つつじ、しゃくなげ、アジサイ等)、ナラ枯れ、マツ枯れ対応等の植物管理による健全な森林の保全</li> <li>・新たな景観創出のための植栽及び環境改善(アナベルの森づくり 等)</li> <li>・植物園の特性を活かしたプログラムの充実(企画展、生体展示、葉樹観察会、あじさい保存園ガイドツアー 等)</li> <li>・多様なターゲットに向けたイベントの充実(親子バードウォッチング、森のラッキータイム、ネイチャーゲーム、トンネルを活用した参加型双方向デジタルアート、森林浴ヨガ 等)</li> </ul>
	提案外で行った、特筆すべき事項	市民参加によるアナベルの森づくり(再掲)

4. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況	
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施 令和3年12月～令和4年3月 アンケート回収数 5件 (令和2年 10件)	
②満足度調査の結果	満足 2人 やや満足 1人 普通 2人 やや不満 0人 不満 0人 満足度{「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5}÷(「満足」+「やや満足」+「普通」+「やや不満」+「不満」)×100 ÷2 ⇒ 75%(R2:85%) ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。	
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	広い空間で自然を感じ、心の休息ができたことが良かった。	

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
所見	<p>3年度はコロナ感染症による5月の大型連休期間を含む17日間の休園のほか、緊急事態宣言等の発出もあったが、最終的には入園者数・入園料収入ともに目標値の9割前後の水準まで回復した。</p> <p>運営面では、感染対策を講じながら、季節ごとの散策イベントや植物の管理、新たな見どころ創出のための植栽及び植物の環境改善等を適切に実施するなど利用促進に努めた。また、博物館相当施設として森林に生息する動植物の特性を把握した展示により園の魅力を発信するなど、提案内容を工夫しながら着実に実施した。さらに、健康をテーマに園の自然環境を活かした企画等により入園者の獲得に努めた。</p> <p>今後も引き続き中長期的な視点で自然を生かした森林景観創出の取り組みを行うとともに、市民が安心してくつろげる貴重な屋外空間としての価値を高め、入園者獲得(特に有料入園者数の増加)に努められたい。</p>



令和3年度 離宮公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	豊かな緑、四季に変化する多くの花木、恵まれた眺望や変化に富んだ造形美を生かし、潤いと安らぎのある市民の憩いの場をめざす 面積82.6ha 施設・修景的緑地・自然林・造成林・駐車場等
(2)指定管理者	神戸市公園緑化協会・神戸市造園協力会グループ
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額:173,972,222円 決算額:190,728,307円(精算額:16,756,085円) ※協定・決算額は当初提案額から、派遣職員人件費(協定25,000,000円、決算28,616,806円)を差引いたもの

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	3年度の状況
①施設の維持管理業務	・公園の景観や修景に配慮した植栽管理を行い、本公園の特徴である「バラ園」を充実 ・施設・設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等
②施設の運営業務	・施設の総合的なマネジメント、入園料の徴収、イベント等の実施による公園の活性化 ・営業時間 9時～17時 木曜日は休園(イベント時等は臨時・夜間開園あり) [新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等] 令和3年4月25日～5月11日 休園
③その他の業務	・レストハウス(レストラン)「ガーデンパタジェ」、臨時売店、駐車場、和室
(2)利用状況	3年度の状況
①施設利用状況	・入園者数 226,917人(対前年度比102%)、2年度 221,518人、元年度 308,207人
②その他利用状況	・ぼたん鑑賞会(休園)、春のバラ鑑賞会(19,908人)、花しょうぶ鑑賞会(12,356人)、初夏のバラ鑑賞会(5,175人)、秋のバラ鑑賞会(39,239人)、もみじ鑑賞会(28,903人)、梅見会(22,390人)
(3)収支状況	3年度の状況
①使用料または利用料金収入	入園料:40,703千円(対前年度比103%)、2年度 39,636千円、元年度 51,589千円
②指定管理者の収支状況	・指定管理部分 収入190,627千円 費用201,192千円 差引▲10,565千円 ・収益事業部分 収入52,783千円 費用 26,287千円 差引26,496千円
(4)その他	3年度の状況
①行動指針に対する対応	①四季折々の開花や紅葉等、植物を楽しめる運営管理及びバラ園の充実、普及・啓発に努める。 →季節ごとの開花に合わせたきめ細やかな植物管理と、植物を活かした企画展示の実施 ②レストラン等の魅力アップや活用、利用者へのサービス向上に努める。 →レストランによる新たな顧客層の取り込み及び連携事業(神戸女子大学等)の展開

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	目標入園者数 282,000人	入園者数実績 226,917人(対目標比80%) (うち有料入園者数 121,578人)
②収入目標額	目標収入額 42,000千円	入園料実績 40,703千円(対目標比97%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況  提案外で行った、特筆すべき事項	・春・初夏・秋バラ、花しょうぶ、もみじ鑑賞会、梅見会の開催 春:19,908人、初夏:5,175人、秋:33,905人(元年度105,602人)、花しょうぶ:12,356人、もみじ:28,903人、梅見会:22,390人 ・季節ごとの開花に合わせたきめ細やかな植物管理と、植物を活かした企画展示の実施 ・神戸女子大学CP連携事業(ゼミ学習、ワークショップ、イベントボランティア等) ・レストラン事業者との連携による園のイメージ向上及び新たな客層の取り込み ・インスタグラム広告掲出、マスコミ取材など積極的な広報の展開 ・和菓子店団体、市内化粧品会社等と連携した土産品の販売 ・LINEを活用したアンケートの実施  ・近隣大学等と連携したバラの無農薬栽培の継続とそれを使用したオリジナル商品の開発 ・園内産蜂蜜「Rikyu Honey」を活用した連携の継続(神戸女子大や和菓子店団体との共同開発等) ・市補助事業(経済観光局)を活用したキッチンカーの出店による利便性向上 ・施設利用料のキャッシュレス導入

4. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施 令和4年12月～3月 アンケート回収数 4件 (令和2年 5件)
②満足度調査の結果	満足 2人 やや満足 1人 普通 1人 やや不満 0人 不満 0人 満足度{「満足」×2+「やや満足」×1.5+「普通」×1+「やや不満」×0.5}÷(「満足」+「やや満足」+「普通」+「やや不満」+「不満」)×100 ÷2}⇒ 81%(R2:90%) ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・電動車いす単独使用者の安全のためにも通路の点検補修をお願いする →園内の巡回調査を随時実施しており、補修箇所があれば対応していく。 (施設独自アンケートのコメント:子供の森が楽しかった。クリスマスにバイオリンやピアノの演奏会をしてほしい。→今後の運営の参考に)

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	3年度は、もみじ鑑賞会期間中のイルミネーションなど新しい取り組みも行い、7月以降は月別に見ると入園者数・入園料収入ともに目標を上回ったが、ゴールデンウィークを含めた集客が見込める時期の休園のほか、緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置により年間を通じて多くのイベントが中止になるなど年間目標は達成できなかった。 運営面では、指定管理者の専門性を活かし、関西随一のバラ園としての魅力向上をはじめ、園内各エリアで次々に見頃を迎える花のきめ細やかな管理、剪定、補植などの景観整備を中長期的な視点で行った。 一方で、養蜂事業やバラの栽培などについて、近隣大学や和菓子店、化粧品会社等と協働で商品販売・開発に取り組むなど、連携事業を着実に進め、独自の特徴的な取り組みとしていることは評価できる。 今後も、園の本質である庭園景観の向上を図り、「緑地改善計画」に則し中長期的展望に基づいた安定的な園地管理を行うとともに、広大なオープンスペース及びアクセスの利点を活かし、新たな需要に対応した施設運営やPRの展開等により、入園者獲得(特に有料入園者数の増加)に努められたい。

令和3年度 しあわせの村(しあわせの森)の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

※表中数値は「全体」以外は建設局所管分

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念の実現を目指し、市民福祉の高揚、福祉活動の推進、健康の増進等の事業を行い、市民福祉の総合的推進を図る。約13.94ha(野外活動センターあおぞら等、温泉健康センター、運動広場、球技場、テニスコート、アーチェリー場)
(2)指定管理者	しあわせの村運営共同事業体
(3)指定期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額:455,034,000円(全体:1,245,780,000円) 決算額:458,834,750円(精算額:3,800,750円) ※協定・決算額は当初提案額から、派遣職員人件費(協定:10,000,000円、決算:9,692,690円)を差引いたもの

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	3年度の状況
①施設の維持管理業務	・広大かつ多様な園地の管理や植栽管理 ・施設及び設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等
②施設の運営業務	・公園の総合的なマネジメント、利用料金の徴収、イベントや市民協働活動の推進による活性化 施設休館情報 [新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等] 令和3年4月25日～5月11日 屋内運動施設の閉鎖 令和3年4月25日～6月20日 温泉健康センターの閉鎖 令和3年4月26日～6月20日 キャンプ場の閉鎖
③その他の業務	・駐車場、レストラン、売店、馬事公苑等
(2)利用状況	3年度の状況
①施設利用状況	件数26,482件(対前年度比117%、対元年度比85%)、2年度22,618件、元年度31,263件
②その他利用状況	入村車両数:1,368,347台、2年度1,286,364台、元年度1,492,386台
(3)収支状況	3年度の状況
①使用料または利用料金収入	使用料(建設分)163,129千円(対前年度比124%、対元年度比71%)、2年度 131,547千円、元年度 229,442千円
②指定管理者の収支状況	①指定管理部分 [収入額] 1,476,123千円 [支出額] 1,509,023千円 [差引]▲ 32,900千円 ②自主事業部分 [収入額] 903,567千円 [支出額] 862,836千円 [差引] 40,731千円
④その他	3年度の状況
①行動指針に対する対応	①みんなに愛されるしあわせの村を目指して →「しあわせの村健康倶楽部」の運営(新規):村内施設を活用した65歳以上の神戸市民を対象とした会員向けの健康事業(健康増進セミナー、測定会&介護予防体操体験会) ②みんなに優しいしあわせの村を目指して →・18歳未満の子どもを含むグループの普通車駐車料金の無料化を実施、 ・「のびのび運動ひろば」の実施(新規):専門家や専門機関と連携し、発達の気になる児童(小学校1・2年生対象)が運動への意欲や達成感を持てるプログラムや、保護者向けの講義、保護者交流会、親子合同の屋外あそびを実施。

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	2年度(前年度)実績 22,618人	3年度利用件数 26,482人(対前年度比117%、対元年度比85%)
②収入目標額	収入目標額249,050千円	実績163,129千円(対目標比66%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況 提案外で行った、特筆すべき事項	・無料シャトルバスの運行(鈴蘭台、北須磨団地、妙法寺駅方面)(利用者32,566人) ・水泳、卓球、アーチェリーなど高齢者、障がい者向けスポーツ教室の開催(参加1,275人) ・障がい者と健常者の交流イベントの開催(参加7,341人) ・地元野菜などの直売所「しあわせマルシェ」の営業(利用者140,985人) ・令和3年4月に(公財)神戸YMCAと包括連携協定を締結し、テントキャンプ場の冬季(12～2月)営業を開始

4. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施 令和3年12月～令和4年3月 アンケート回収数 17件 (令和2年 97件)
②満足度調査の結果	満足 8人 やや満足 6人 普通 2人 やや不満 0人 不満 1人 満足度{([満足]×2+[やや満足]×1.5+[普通]×1+[やや不満]×0.5)÷([満足]+[やや満足]+[普通]+[やや不満]+[不満])×100÷2}⇒ 79%(R2:90%) ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	温泉やホテル等の建物が昭和っぽく、古い。民間で温泉やホテルを建ててもらいたいと考えて欲しい。 (施設独自アンケート:トリム園地への行き方がわかりにくい→R3年度に兵庫県福祉のまちづくり研究所と連携して実証実験を行い、二次元バーコードを活用した案内看板を設置(R4年5月) ・小さな子どもでも遊べる遊具がほしい→低年齢層の子どもでも利用できる遊具として「ふわふわドーム」を新設(R4年3月31日完成))

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
所見	令和3年度も令和2年度に引き続き、園内各施設の休館や営業時間短縮等コロナ禍による影響もあり、施設利用者数及び利用料金収入がコロナ禍前よりも大きく減少しているが、本市の総合福祉施設として、障がい者や高齢者が参加できる活動や健常者との交流イベントの開催など感染防止対策を講じながら運営にあたっており回復の兆しが見られる。 また、令和3年4月に(公財)神戸YMCAと包括連携協定を締結するなど村の活性化に前向きに取り組んでいる。 今後も、施設利用者の様々なニーズに対応した取り組みを行うとともに、適切な施設運営に取り組まなければならない。